授業のポイント（詳しくは、指導案の単元計画に記載）

第１時　　オリエンテーション

○　昨年度までの既習事項を確認した。

　　・　模範演技を行いった。技の習熟を確認した。

　○　授業の流れや約束の確認をした。

　　・　場の設定の仕方やアドバイスを行う場所を示したりして、次時以降の学習の流れを確認した。

第２時　　開脚跳び

○　補助運動行う。

　・　両足で踏切ができるように、踏切版にケンステップを置きその中に両足が入るようにする。

　・　両足踏切での跳び乗り、跳び降り、腕支持を行った。

○　掲示資料を基に技の練習を行う。

　・　ポイント見て児童間でアドバイスできるようにする。

　・　児童の実態に応じて場を変化させる。(高さを変える、小さい跳び箱を使う等)

〇　ワークシートの書き方の指導をする。

　・　自分でつかんだことだけでなく、友達にアドバイスした内容や、アドバイスをされた内容を記入する。

　・　技の絵に自分が意識したポイントに印を付ける。

第３時　　大きな開脚跳び

○　補助運動行う。

　・　前時間の内容を行う。

○　掲示資料を基に技の練習を行う。

　・　ポイント見て児童間でアドバイスできるようにする。

　・　児童の実態に応じて場を変化させる。(高さを変える、小さい跳び箱を使う等)

○　腰を高く上げる練習を行う。

　・　とび箱に手をついて「トントントーン」のリズムで体が地面と平行になるように腰を上げ、足を伸ばす練習を行う。

〇　ワークシートの書き方の指導をする。

　・　上記の内容に加え、授業の初めに前時間の振り返りの内容がよく記述できていた児童に発表をさせる。

第４時　　台上前転(詳細は指導案を参照)

○　補助運動行う。

　・　マットを横にして、マットの横幅と跳び箱の縦幅が同じであることをつかませ、前転させるようにする。この際に着手の位置や前時の「トントントーン」とジャンプして、腰を高く持ち上げて回るように指導する。

　・　マットを重ねて高くしていく。最終的に、跳び箱の１段と同じ高さになるまで重ねていくようにする。

○　跳び箱を使った練習を行う。

　・　跳び箱の１段の両サイドに同じ高さになるように重ねたマットを置き、失敗しても落ちないことを理解させ練習に取り組ませる。

　・　段階的に場の設定を変え、最終的に跳び箱のみでできるようにしていく。

　・　児童の実態に応じて自分で場を選ばせるようにする。

○　掲示資料を基に友達にアドバイスを行う。

　・　ポイント見て児童間でアドバイスできるようにする。

○　ワークシートを用いて振り返りを行う。

第５時　　大きな台上前転

○　跳び箱を使って台上前転の練習を行う。

　・　前時間と同じ場をつくり、既習事項の確認を行い、運動に取り組む。

　・　児童の実態に応じて高さを変化させる。

○　掲示物を使ってポイントを確認する。

　　・　掲示物や模範演技を通して、台上前転との違いを理解させる。

○　跳び箱を使った練習を行う。

　・　前時の場の設定と同じように場を設定し、自分で場を選んで練習する。

　・　児童の実態に応じて場を変化させる。

○　掲示資料を基に友達にアドバイスを行う。

　・　ポイントを見て児童間でアドバイスできるようにする。

○　ワークシートを用いて振り返りを行う。

第６時　　自分の高めたい技の練習

○　前時までの学習内容を想起し、自分が行いたい技を選んで練習を行う。

　・　場の設定を想起し、自分が行いたい技に合った場を選んで練習できるようにする。

○　ワークシートや掲示資料を基に友達にアドバイスを行う。

　・　ワークシートや掲示資料に書き込んだポイントを生かして、友達にアドバイスを行うようにする。

第７時　　発表会を行う

○　前時までの学習内容を想起し、自分が行いたい技を選んで練習を行う。

　　・　これまでの学習を生かして場を設定できるようにする。

○　前時までの取り組んできた技の発表を行う。

　　・　既習事項での場の設定を生かし、発表会に向けての練習を行う。

　　・　児童の実態に合った場を設定し、場を選んで発表会に取り組ませる。

○　単元を通しての振り返りを行う。

　　・　単元の感想を発表できるようにしたり、記述したりできるようにする。

　　・　５年生で行う内容について伝えるようにする。